

FY2023 2Q

2023年度第2四半期 決算説明資料

2023年11月9日

1. 2023年度 第2四半期累計実績

2. 2023年度 通期業績予想

3. 参考資料

1

2023年度 第2四半期累計実績

2023年度 第2四半期累計実績

(単位：億円)

	FY2022Q2 累計実績	FY2023Q2 累計実績	前年同期比
売上高	2,684	2,710	+26
植物性油脂事業	1,014	928	▲86
業務用チョコレート事業	1,055	1,166	+111
乳化・発酵素材事業	446	436	▲10
大豆加工素材事業	169	180	+11
営業利益	51	88	+37
植物性油脂事業	33	75	+42
業務用チョコレート事業	26	7	▲20
乳化・発酵素材事業	0	14	+14
大豆加工素材事業	9	10	+0
グループ管理費用等	▲19	▲18	+0
営業利益率	1.9%	3.2%	+1.4pt
経常利益	54	83	+29
親会社株主に帰属する四半期純利益	32	124	+91

売上高 **2,710億円** 前年同期比+26億円

植物性油脂事業でのフジオイルニューオリンズ*の固定資産譲渡による販売数量の減少はあったものの、業務用チョコレート事業での為替円安の影響及び、販売価格の上昇により増収

営業利益 **88億円** 前年同期比+37億円

インフレによる固定費の増加や一部の事業での販売数量の減少はあったものの、原材料価格の安定的な推移等により増益

増益要因

- ✓ パーム油価格の安定により植物性油脂事業での収益性の改善
- ✓ フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による前年度(営業損失)からの改善

減益要因

- ✓ ブラマー*での販売数量の減少や固定費の増加
- ✓ 植物性油脂事業・東南アジアでの前年度一過性需要からの反動減

四半期純利益 **124億円** 前年同期比+91億円

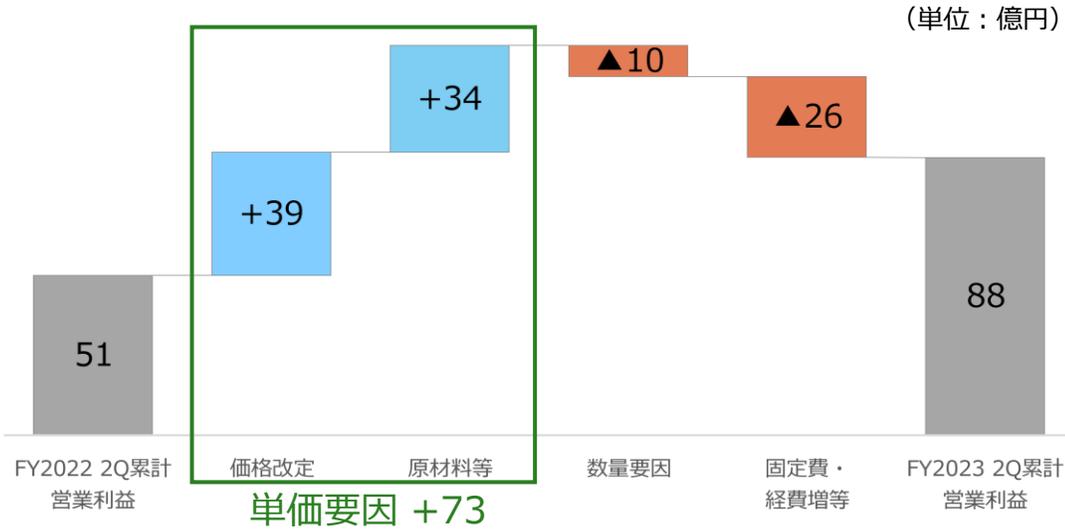
フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による特別利益により、大幅増加

*フジオイルニューオリンズ：植物性油脂事業・米州。2023年4月に固定資産を譲渡

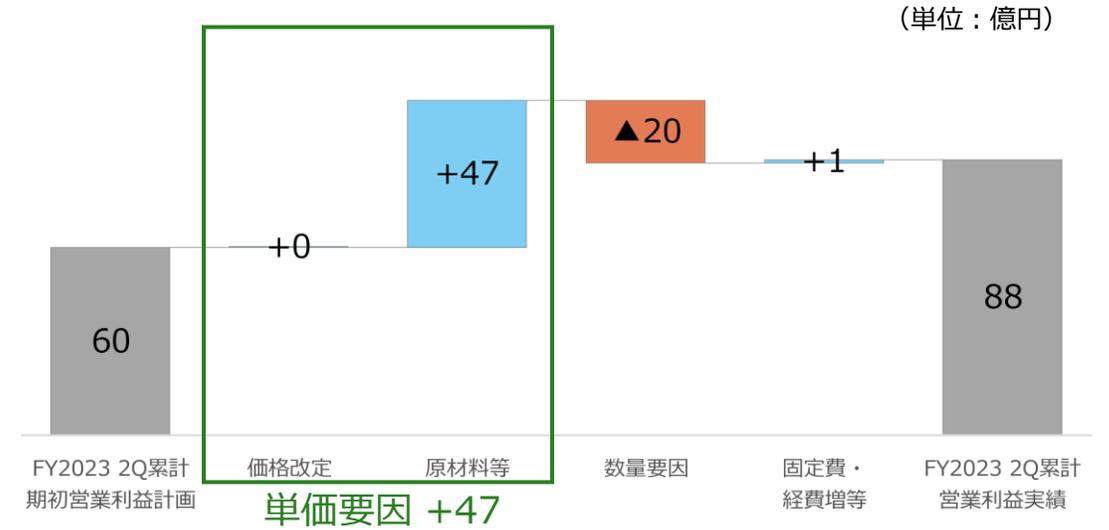
*ブラマー：業務用チョコレート事業・米州（北米）

営業利益増減分析 前年同期比・期初計画比

■前年同期比 営業利益増減分析



■期初計画比 営業利益分析



単価要因	+	価格改定及び原材料価格の安定
数量要因	+	ハラルド*の販売数量の増加
	-	植物性油脂事業・東南アジアやブラマーの販売数量の減少
固定費・経費等	+	フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による固定費の減少
	-	ブラマーの人件費等の固定費の増加

単価要因	+	パーム油等の原材料やその他の価格の安定
数量要因	+	ハラルドの販売数量の増加
	-	ブラマーの販売数量の減少
固定費・経費等	+	各エリアでのコスト削減
	-	ブラマーの人件費等の固定費の増加

2023年度 第2四半期累計セグメント別概況



植物性油脂

売上高 928億円（前年同期比 ▲86億円）
 営業利益 75億円（前年同期比 +42億円）

原材料価格の安定、フライ用油脂などの安定した需要により各エリアで業績が堅調に推移。サステナブルなパーム油の取り組みも奏功。

日本、米州 欧州	原材料価格安定により採算性が改善
米州	前年度営業損失であったフジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による改善
東南アジア	前年度一過性需要からの反動減



業務用チョコレート

売上高 1,166億円（前年同期比 +111億円）
 営業利益 7億円（前年同期比 ▲20億円）

人流回復や設備投資により、各エリアで販売数量が伸長。ブラマーでは、顧客の在庫調整の継続により販売数量が減少し、人件費や修繕費の上昇により固定費が増加。

日本、欧州 東南アジア	人流回復により販売数量伸長
米州（ブラマー）	販売数量減少や固定費の増加により減益
米州（ハラルド）	新工場稼働により販売数量が増加



乳化・発酵素材

売上高 436億円（前年同期比 ▲10億円）
 営業利益 14億円（前年同期比 +14億円）

原材料価格の安定により各エリアで収益性が改善。日本では、クリームの販売などが堅調に推移。

日本	クリームの堅調な販売が継続
東南アジア	販売数量は減少も、原材料価格の安定により改善
中国	景気後退の影響はあるが、原材料価格の安定、販売数量の緩やかな回復により改善



大豆加工素材

売上高 180億円（前年同期比 +11億円）
 営業利益 10億円（前年同期比 +0億円）

大豆たん白素材や大豆たん白食品の販売数量は減少するも、原材料価格に対応した価格改定を実施。機能剤は中食向けの販売数量が減少も、飲料向けは堅調に推移。

日本	価格対応を進め、採算性が改善 飲料向けの機能剤が収益に寄与
欧州	新工場稼働開始による減価償却費の増加はあるものの、コストコントロールを継続

第2四半期累計：売上高・営業利益（事業別・所在地別マトリクス）

(単位：百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
植物性油脂	FY2023 2Q	27,740	+1,321	33,347	▲6,737	11,560	▲5,366	1,748	▲24	18,392	+2,236	92,789	▲8,570
	FY2022 2Q	26,419	+6,433	40,084	+20,541	16,927	+7,861	1,772	+222	16,156	+4,617	101,360	+39,674
	FY2021 2Q	19,986	-	19,543	-	9,066	-	1,550	-	11,539	-	61,686	-
業務用チョコレート	FY2023 2Q	21,386	+2,020	77,818	+5,898	9,159	+1,420	3,400	+356	4,846	+1,410	116,611	+11,105
	FY2022 2Q	19,366	+1,165	71,920	+12,910	7,739	+2,223	3,043	+380	3,436	+1,220	105,505	+17,897
	FY2021 2Q	18,201	-	59,010	-	5,516	-	2,663	-	2,216	-	87,608	-
乳化・発酵素材	FY2023 2Q	28,313	+988	-	-	7,091	▲1,029	8,217	▲985	-	-	43,622	▲1,026
	FY2022 2Q	27,325	+2,507	-	-	8,120	+2,723	9,203	+1,755	-	-	44,648	+6,983
	FY2021 2Q	24,818	-	-	-	5,397	-	7,448	-	-	-	37,665	-
大豆加工素材	FY2023 2Q	17,546	+1,188	-	-	-	-	468	▲57	0	+0	18,014	+1,131
	FY2022 2Q	16,357	▲124	-	-	-	-	525	▲536	-	-	16,883	▲659
	FY2021 2Q	16,481	-	-	-	-	-	1,061	-	-	-	17,543	-
売上高計	FY2023 2Q	94,987	+5,518	111,165	▲839	27,811	▲4,975	13,834	▲710	23,239	+3,646	271,038	+2,639
	FY2022 2Q	89,468	+9,980	112,004	+33,451	32,787	+12,806	14,545	+1,821	19,593	+5,838	268,398	+63,895
	FY2021 2Q	79,488	-	78,553	-	19,981	-	12,724	-	13,755	-	204,503	-

営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
植物性油脂	FY2023 2Q	2,833	+1,918	2,428	+2,568	630	▲1,715	3	+96	1,507	+978	133	+351	-	-	7,536	+4,198
	FY2022 2Q	915	▲952	▲140	▲1,017	2,346	+1,528	▲93	▲70	529	▲30	▲218	▲382	-	-	3,338	▲924
	FY2021 2Q	1,867	-	877	-	818	-	▲23	-	559	-	164	-	-	-	4,263	-
業務用チョコレート	FY2023 2Q	2,646	+322	▲2,900	▲2,921	575	+411	14	+81	325	+179	30	▲25	-	-	691	▲1,952
	FY2022 2Q	2,323	▲386	21	+118	164	+16	▲66	▲41	145	+96	56	+32	-	-	2,644	▲166
	FY2021 2Q	2,709	-	▲97	-	148	-	▲25	-	49	-	24	-	-	-	2,810	-
乳化・発酵素材	FY2023 2Q	1,385	+598	-	-	▲126	+520	184	+386	-	-	2	▲101	-	-	1,446	+1,403
	FY2022 2Q	787	+59	-	-	▲647	▲310	▲201	▲578	-	-	103	▲83	-	-	42	▲912
	FY2021 2Q	728	-	-	-	▲337	-	377	-	-	-	186	-	-	-	954	-
大豆加工素材	FY2023 2Q	1,197	+272	-	-	-	-	113	▲38	▲391	▲256	52	+58	-	-	972	+36
	FY2022 2Q	924	▲681	-	-	-	-	152	▲83	▲134	+3	▲6	▲56	-	-	935	▲817
	FY2021 2Q	1,605	-	-	-	-	-	235	-	▲137	-	50	-	-	-	1,753	-
連結調整	FY2023 2Q	67	▲24	▲11	▲7	21	+29	1	▲9	67	+139	▲150	▲115	-	-	▲4	+10
	FY2022 2Q	92	▲41	▲3	▲2	▲7	▲11	10	▲13	▲71	▲103	▲34	+158	-	-	▲14	▲14
	FY2021 2Q	133	-	▲1	-	4	-	23	-	32	-	▲192	-	-	-	-	-
グループ管理費用	FY2023 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,842	+38	▲1,842	+38
	FY2022 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,880	▲11	▲1,880	▲11
	FY2021 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,869	-	▲1,869	-
営業利益計	FY2023 2Q	8,129	+3,086	▲484	▲360	1,102	▲753	317	+516	1,509	+1,041	68	+166	▲1,842	+38	8,800	+3,735
	FY2022 2Q	5,042	▲2,001	▲123	▲902	1,856	+1,222	▲199	▲787	468	▲35	▲98	▲331	▲1,880	▲11	5,065	▲2,848
	FY2021 2Q	7,043	-	779	-	634	-	588	-	503	-	233	-	▲1,869	-	7,913	-

2

2023年度 通期業績予想

2023年度 通期業績予想

(単位：億円)

	FY2022 実績	FY2023 計画	前期比	FY2023 期初計画
売上高	5,574	5,500	▲74	5,500
植物性油脂事業	2,034	1,809	▲225	1,835
業務用チョコレート事業	2,285	2,434	+149	2,352
乳化・発酵素材事業	912	888	▲24	953
大豆加工素材事業	343	369	+26	360
営業利益	109	165	+56	165
植物性油脂事業	70	115	+45	85
業務用チョコレート事業	50	55	+5	82
乳化・発酵素材事業	15	29	+14	31
大豆加工素材事業	13	9	▲4	10
グループ管理費用等	▲38	▲42	▲4	▲44
営業利益率	2.0%	3.0%	+1.0pt	3.0%
経常利益	97	150	+53	150
親会社株主に帰属する当期純利益	61	160	+99	160

環境
認識

期初に想定した環境認識から大きな変更はなし

- ・ポストコロナにおける経済の段階的回復
- ・人件費や運送費などのコストは高止まり
- ・インフレ抑制を目的に欧米の高金利政策が継続

重点
施策

引き続き、期初に掲げた重点施策を実施することで通期計画の達成を図る

- ・価格政策の継続
- ・原料ポジション管理の徹底
- ・差別化戦略の推進
- ・ROICや生産性指標による管理強化

営業
利益

営業利益 165億円 前期比+56億円

期初計画から変更はないが、各事業の内訳を修正

植物性油脂事業

安定した原材料価格の推移による上期超過分を勘案

業務用チョコレート事業

ブラマーでの上期の販売数量減少などを勘案し、修正

当期
純利益

当期純利益 160億円 前期比+99億円

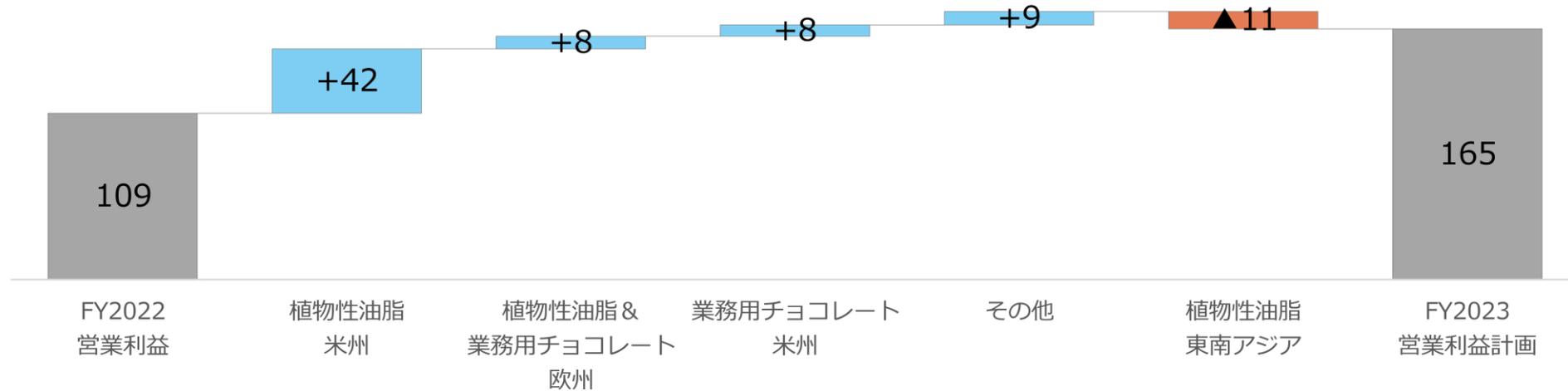
期初計画から変更なし

前期比では、営業利益の増益に加え、フジオイルニューオリズの固定資産譲渡による特別利益計上により当期純利益の大幅な増益を計画

営業利益増減分析 前期比

■前期比 営業利益増減分析

(単位：億円)

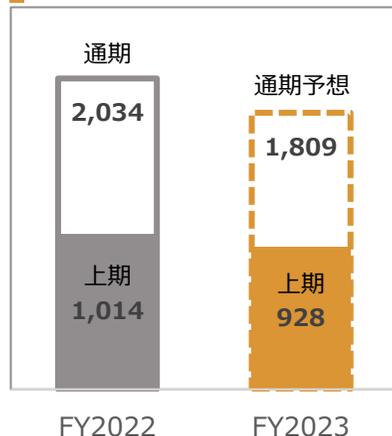


 植物性油脂事業	東南アジアでの前年度からの反動減は見込むものの、原材料価格の安定的な推移により増益を計画。
 業務用チョコレート事業 (米州)	ハラルドでの販売数量の増加などにより増益を計画。

植物性油脂事業

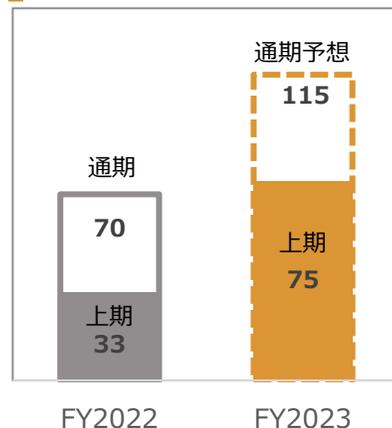
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



上期の進捗

下期の取組み

日本：フライ用油脂の堅調な販売を継続

- ✓ 原材料価格の安定的な推移により収益性が改善
- ✓ フライ用油脂等の堅調な販売継続
- ✓ 認証パーム油の需要の顕在化

- ✓ 原材料価格の状況に応じた拡販の継続
- ✓ チョコレート用油脂やフライ用油脂等の拡販継続
- ✓ 認証パーム油の販売強化



米州：高稼働による収益の伸長

- ✓ ニューオリンズ工場の設備譲渡の実施
- ✓ 原材料価格の安定的な推移に加え、サバンナ工場の高稼働により収益伸長
- ✓ チョコレート用油脂の顧客の在庫調整は継続

- ✓ 高稼働は一巡もコモディティ油脂等の安定的な需要を見込む
- ✓ チョコレート用油脂の販売強化
- ✓ Oilseeds社*拡販実施

*北米でプレミアム植物油（ひまわり油、米ぬか油）等を扱う販売会社



東南アジア：前年度の特需剥落も、認証パーム油等の販売が堅調に推移

- ✓ 前年度の一過性の需要が剥落するも、認証パーム油や差別化製品等の販売が引き続き堅調

- ✓ 欧米を中心に認証パーム油の需要は継続しているため、販売を強化



欧州：差別化戦略が奏功

- ✓ 認証パーム油や差別化製品の需要が強く収益性が改善

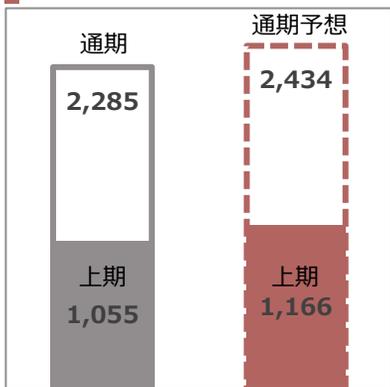
- ✓ 差別化戦略を継続
- ✓ シアカーネルのトレーサビリティ向上に向けた取り組みを推進



業務用チョコレート事業

売上高

単位：億円

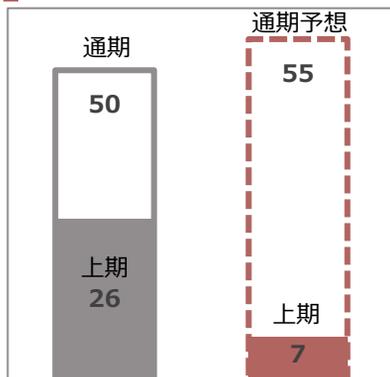


FY2022

FY2023

営業利益

単位：億円



FY2022

FY2023

上期の進捗

下期の取組み

日本：土産市場での需要の取り込みと、差別化製品の販売を強化

- ✓ 販売価格の適正化を継続
- ✓ 流通菓子は量目減により数量が減少するも、土産市場向けや冷菓向けの販売が伸長

- ✓ カカオ、砂糖などの原料価格に対応し価格改定を継続
- ✓ 差別化製品の販売強化
- ✓ サステナブル原料の取り組みを推進

営業利益 上期/通期

26
51 億円

米州 (北米/ブラマー) : 米国でのインフレ・金利上昇による消費減退を懸念 (ブラジル/ハラルド) : 新工場の稼働、新規顧客開拓により販売数量が増加

ブラマー (北米)

- ✓ 顧客の在庫調整の継続等による販売数量の減少
- ✓ 金利の高止まりによる固定費などの上昇
- ✓ 人員確保や設備投資は計画通りに進捗

- ✓ 販売の強化による販売数量の回復
- ✓ コスト削減などによる固定費のコントロールの実施

営業利益 上期/通期

▲29
▲13 億円

ハラルド (ブラジル)

- ✓ 新工場の稼働や販促による販売数量の増加

- ✓ 繁忙期に向けた販売促進を実施

その他 (東南アジア・欧州) : 設備投資の効果による販売数量伸長

- ✓ インドネシアでは、販売数量が回復し伸長
- ✓ 豪州は、製パン素材向けなど需要増に対応
- ✓ 欧州は、生産能力を增強し、差別化製品が好調に推移。販売数量が伸長

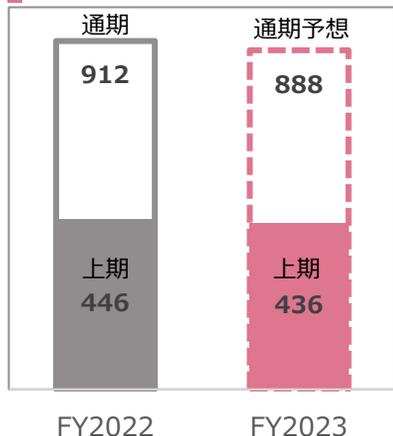
- ✓ インドネシアは、コスト競争力を強化
- ✓ 豪州は、需要に応じた生産体制の強化を推進
- ✓ 欧州は、引き続き拡販による販売数量の増加を見込む



乳化・発酵素材事業

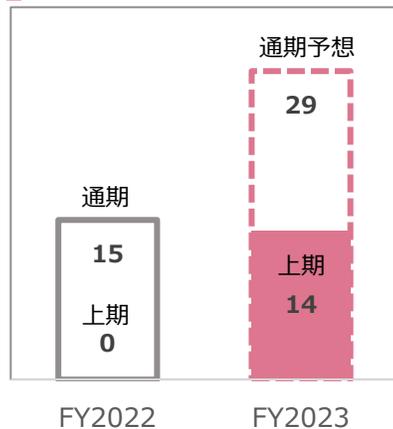
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



上期の進捗

下期の取組み

日本：クリームの販売が堅調に推移

- ✓ コンビニ、外食向けの新規採用等によりクリームの販売が伸長
- ✓ 原材料価格の安定的な推移が寄与
- ✓ ホイップクリームの新製法による品質向上も寄与

- ✓ 消費者ニーズを捉えた提案活動を継続
- ✓ 価格対応を引き続き実施



東南アジア：東南アジア向けの拡販目指す

- ✓ 原材料価格の安定的な推移も、為替円安などにより日本向け調製品の回復は緩やか
- ✓ 東南アジアに向けた提案を強化し拡販を図る

- ✓ 調製品は乳製品の需要変化に対応し拡販を図る
- ✓ 東南アジア向けの拡販を継続



中国：景気後退も緩やかに販売は回復

- ✓ 景気後退により販売数量が減少も、徐々に販売は回復
- ✓ 原材料価格の安定的な推移により収益性が改善

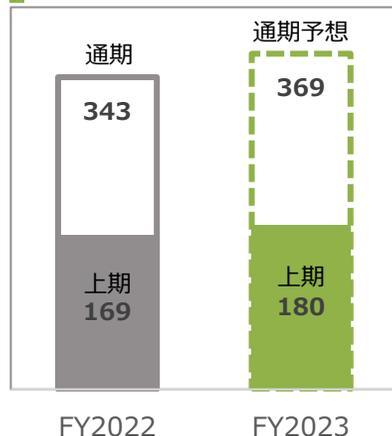
- ✓ 新規顧客の獲得や市場のニーズに対応した新製品の導入により販売数量の回復を図る
- ✓ 今夏に稼働したクリーム工場の拡販を実施



大豆加工素材事業

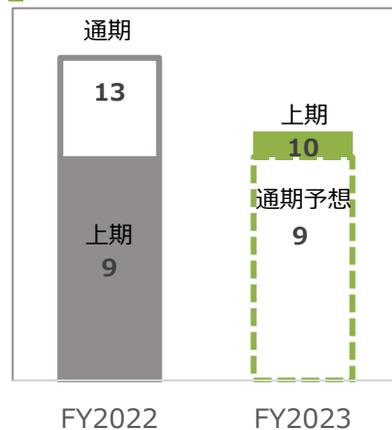
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



上期の進捗

日本：粉末状大豆たん白の拡販を継続

- ✓ 原材料価格に対応した価格改定を実施
- ✓ 大豆たん白素材の販売数量は緩やかに回復
- ✓ 粉末状大豆たん白の海外向け販売が伸長
- ✓ 機能剤は中食向けの販売数量が減少も飲料向けを中心に堅調な販売

下期の取組み

- ✓ 大豆たん白素材では、新規顧客開拓により販売数量の更なる回復を図る
- ✓ 海外に向けた粉末状大豆たん白の拡販を継続

営業利益 上期/通期



欧州：拡販は翌年度以降。コストコントロールを継続

- ✓ 顧客へのアプローチを継続
- ✓ コストコントロールは当初計画通りに進捗

- ✓ 2024年度以降の本格的な拡販を目指し、販売強化
- ✓ 引き続きコストコントロールを実施

営業利益 上期/通期



中長期成長に向けた取り組み

挑戦領域

2030年目標（売上高1,000億円、営業利益100億円）に向けて取り組みを推進

製品の展開

MIRACORE®

MIRACORE®技術を活用した植物性ダシ「MIRA-Dashi®」を展開。2021年発売のパイタン風ダシに続き、鶏ダシ風、牛ダシ風、カツオ風魚介ダシを上市。不二製油（株）では新規ビジネス創出に向けた専門部署「風味基材事業開発部」「デジタル販売課」を新設。



プライムソイミート

「肉のような繊維感や噛み応え」と「口どけ」を両立したプライムソイミートを2022年に上市。ホテル、外食チェーンなどで採用。



顧客との共創



(株)カノ源ホールディングス
アメリカの「一風堂」全店舗および「Kuro-Obi」にてMIRACORE®を活用したプラントベースラーメンを提供



CP Foods（タイ）
プラントベース製品開発における協業体制を構築

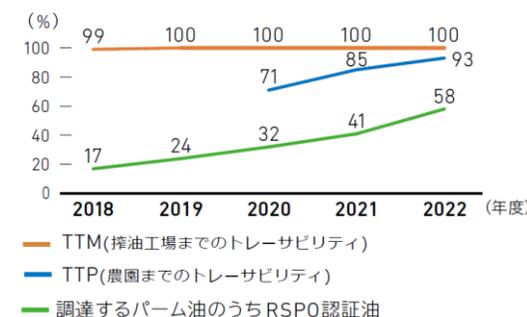
サステナブル調達

責任あるサプライチェーンの構築により、リスクを低減するだけでなく機会創出に向けて活動

パーム油

- ✓ トレーサビリティを高め、地球環境、人権に配慮した活動を推進。取り組みに共感いただいた顧客からの問合せも増加し、販売機会創出につながる。
- ✓ RSPO認証油比率も年々増加。（2022年度58%）

パーム油のトレーサビリティ比率とRSPO認証油の割合



カカオ

- ✓ 不二製油グループ独自のサステナビリティ支援プログラム「サステナブル・オリジン・プログラム」を適用した製品の採用が拡大。



有楽製菓株式会社
ブラックサンダーにサステナブル・オリジンを適用した製品を使用



SUSTAINABLE・ORIGINS

主な財務指標・配当方針

B/S

・2023年度 第2四半期末

フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡により現預金が増加、及び為替円安等により総資産が増加。

単位：億円

	FY2022期末 実績	FY2023Q2末 実績
現預金等	190	282
のれん(広義)	552	584
資産合計	4,688	5,034
有利子負債	1,684	1,691
負債合計	2,578	2,595
純資産合計	2,110	2,439

単位：億円

	FY2022期末 実績	FY2023Q2末 実績
ネットD/Eレシオ*	0.80倍	0.71倍
株主資本	1,873	1,975
自己資本比率	43.3%	46.2%

* ネット有利子負債÷株主資本

C/F

・2023年度 第2四半期累計

営業CF、FCFは前年同期比では改善。

単位：億円

	FY2022Q2 累計実績	FY2023Q2 累計実績
営業CF	▲172	▲16
FCF	▲228	148

その他財務指標

単位：億円

	FY2022Q2 累計実績	FY2023Q2 累計実績
ROE	3.2%	11.4%
ROIC*	1.8%	3.0%
CCC(日)	121日	117日
設備投資額	94	70

(注) ROE、ROICは年間換算した参考値

* ROIC = 営業利益 × (1 - 法人税率) ÷ (期末株主資本 + 有利子負債)

配当方針

FY2023 予想

・52円/年間を予定

(中間26円、期末26円 期初計画から変更なし)

上期総括と通期計画について

中期経営計画達成に向けて

3

参考資料

通期：売上高・営業利益（事業別・所在地別マトリクス）

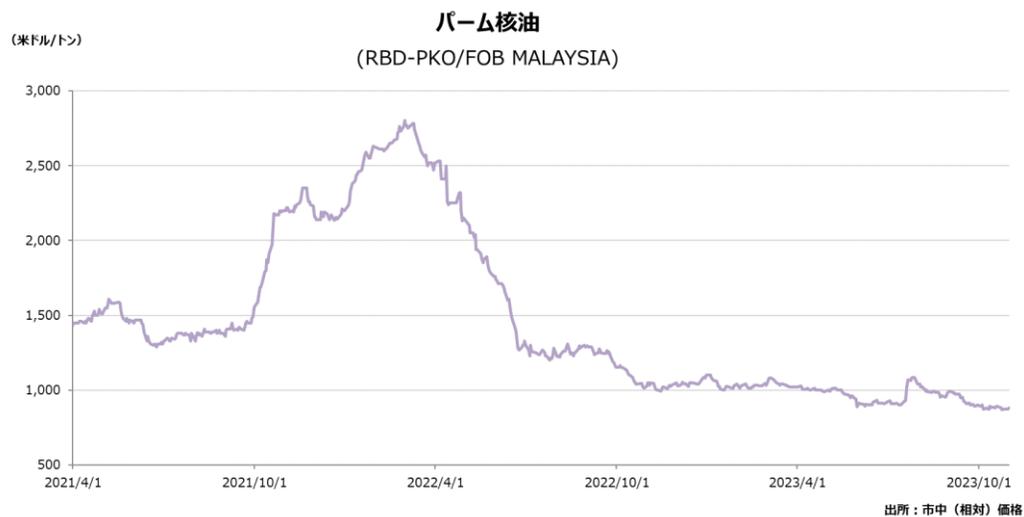
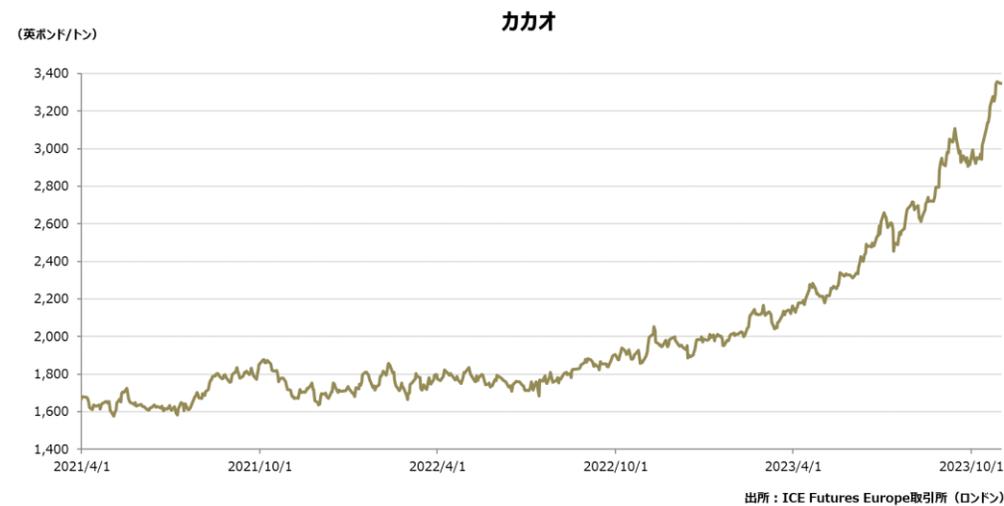
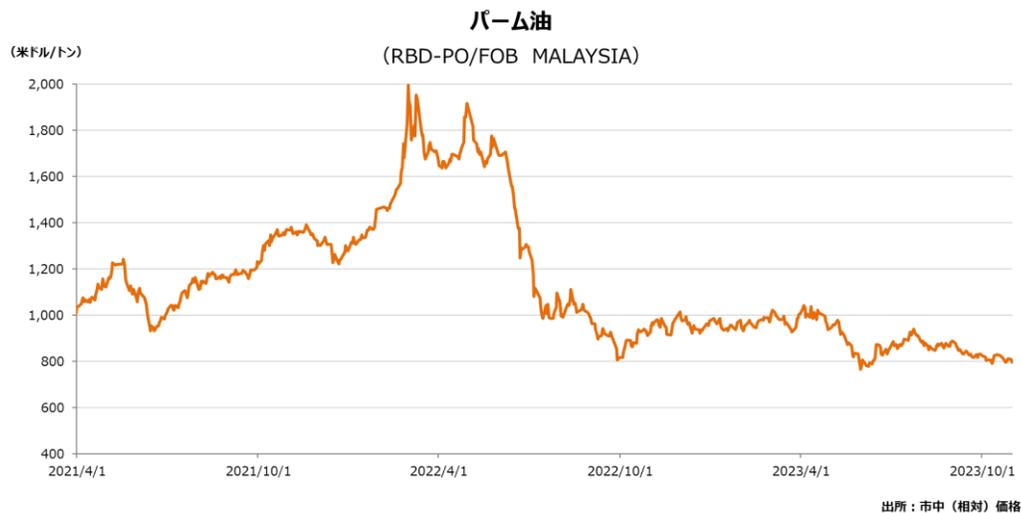
(単位：百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2023 修正予想	55,800	▲632	66,000	▲13,217	22,000	▲8,858	3,100	▲274	34,000	+436	180,900	▲22,548
	2023 期初計画	56,700	+268	64,400	▲14,817	29,700	▲1,158	3,100	▲274	29,600	▲3,964	183,500	▲19,948
	2022 実績	56,432	-	79,217	-	30,858	-	3,374	-	33,564	-	203,448	-
業務用 チョコレート	2023 修正予想	44,600	+2,352	163,000	+9,676	20,000	+1,832	6,600	▲867	9,200	+1,896	243,400	+14,887
	2023 期初計画	44,600	+2,352	155,800	+2,476	19,800	+1,632	7,100	▲367	7,900	+596	235,200	+6,687
	2022 実績	42,248	-	153,324	-	18,168	-	7,467	-	7,304	-	228,513	-
乳化・発酵素材	2023 修正予想	57,800	+103	-	-	13,500	▲2,571	17,500	+105	-	-	88,800	▲2,364
	2023 期初計画	58,700	+1,003	-	-	17,600	+1,529	19,000	+1,605	-	-	95,300	+4,136
	2022 実績	57,697	-	-	-	16,071	-	17,395	-	-	-	91,164	-
大豆加工素材	2023 修正予想	36,000	+2,752	-	-	-	-	899	▲136	1	+1	36,900	+2,616
	2023 期初計画	34,800	+1,552	-	-	-	-	1,100	+65	100	+100	36,000	+1,716
	2022 実績	33,248	-	-	-	-	-	1,035	-	-	-	34,284	-
売上高計	2023 修正予想	194,200	+4,573	229,000	▲3,542	55,500	▲9,597	28,099	▲1,174	43,201	+2,332	550,000	▲7,410
	2023 期初計画	194,800	+5,173	220,200	▲12,342	67,100	+2,003	30,300	+1,027	37,600	▲3,269	550,000	▲7,410
	2022 実績	189,627	-	232,542	-	65,097	-	29,273	-	40,869	-	557,410	-

営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2023 修正予想	4,408	+458	3,293	+4,231	1,814	▲1,145	▲157	+30	2,089	+706	27	+172	-	-	11,474	+4,453
	2023 期初計画	3,829	▲121	2,048	+2,986	1,623	▲1,336	▲227	▲40	1,231	▲152	28	+173	-	-	8,532	+1,511
	2022 実績	3,950	-	▲938	-	2,959	-	▲187	-	1,383	-	▲145	-	-	-	7,021	-
業務用 チョコレート	2023 修正予想	5,137	▲492	▲1,269	+757	1,255	+373	▲197	▲235	503	+128	28	▲45	-	-	5,457	+484
	2023 期初計画	5,312	▲317	1,292	+3,318	1,392	+510	▲96	▲134	309	▲66	29	▲44	-	-	8,238	+3,265
	2022 実績	5,629	-	▲2,026	-	882	-	38	-	375	-	73	-	-	-	4,973	-
乳化・発酵素材	2023 修正予想	2,443	+280	-	-	38	+470	419	+604	-	-	32	+86	-	-	2,932	+1,442
	2023 期初計画	2,023	▲140	-	-	215	+647	786	+971	-	-	33	+87	-	-	3,058	+1,568
	2022 実績	2,163	-	-	-	▲432	-	▲185	-	-	-	▲54	-	-	-	1,490	-
大豆加工素材	2023 修正予想	1,249	▲97	-	-	-	-	363	+79	▲794	▲418	37	+15	-	-	855	▲422
	2023 期初計画	1,330	▲16	-	-	-	-	380	+96	▲724	▲348	40	+18	-	-	1,026	▲251
	2022 実績	1,346	-	-	-	-	-	284	-	▲376	-	22	-	-	-	1,277	-
連結調整	2023 修正予想	-	▲158	-	+8	-	+52	-	▲16	-	+133	-	+10	-	-	-	+30
	2023 期初計画	-	▲158	-	+8	-	+52	-	▲16	-	+133	-	+10	-	-	-	+30
	2022 実績	158	-	▲8	-	▲52	-	16	-	▲133	-	▲10	-	-	-	▲30	-
グループ 管理費用	2023 修正予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,218	▲426	▲4,218	▲426
	2023 期初計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,355	▲563	▲4,355	▲563
	2022 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,792	-	▲3,792	-
営業利益計	2023 修正予想	13,237	▲10	2,024	+4,997	3,107	▲249	428	+461	1,798	+550	124	+238	▲4,218	▲426	16,500	+5,560
	2023 期初計画	12,494	▲753	3,341	+6,314	3,230	▲126	842	+875	817	▲431	130	+244	▲4,355	▲563	16,500	+5,560
	2022 実績	13,247	-	▲2,973	-	3,356	-	▲33	-	1,248	-	▲114	-	▲3,792	-	10,940	-



主要原料推移 (～2023年10月末)



不二製油グループ本社株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。